

# 令和2年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援B型 事業報告書

## 1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルスが流行し、外出や活動の制限による日常生活の変化や感染への不安が続くなど、利用者にとって大きな影響を受けた1年となった。年間を通して感染防止対策のため、利用を自粛する利用者もいたが、多くの利用者は感染への不安を抱えながらも毎日通所することを希望し、これまでと変わらない作業や行事への参加を望んでいた。このような中、感染防止対策を徹底し、感染者も出ず一年を通して開所することができたことは大きな意味があったといえる。令和3年度においても感染防止対策を徹底し、通年で開所することを目指したい。

## 2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-5
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50人
- 6) 利用現員 78人(令和3年3月31日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員  
管理者 1名  
サービス管理責任者 2名(常勤換算1.5)  
職業指導員 6名(常勤換算5.3)  
生活支援員 7名(常勤換算5.5)  
目標工賃達成指導員 1名(常勤換算1.0)

### 職員グループ別内訳

- ・あかしあグループ  
職業指導員 2名(常勤換算1.3)  
生活支援員 3名(常勤換算2.2)  
目標工賃達成指導員 1名(常勤換算1.0)
- ・みどりグループ  
職業指導員 4名(常勤換算4.0)  
生活指導員 4名(常勤換算3.3)

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援。  
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。  
安心と希望の持てる生活。
- 4 基本方針 生き生きと働ける職場  
日中活動の保障  
豊かな生活の支援  
個別支援計画に基づいた計画的な支援  
安心できる将来への支援

## 5 実施事業

### 《あかしあグループ》

- 1) 就労支援事業
  - (1) 傘の値付け
  - (2) ダイレクトメール封入、封緘
  - (3) 古着の値付け

- (4) 小平市報の折り
- (5) 公園清掃
- (6) 神社清掃
- (7) 入所施設清掃
- (8) 事務封筒製作
- (9) 緑化推進事業

2) 生活支援事業

- (1) 夕方生活支援事業

(※5月以降、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。4月のみ週3日実施)

3) 行事

- (1) 年間計画

10月 食事会 (とんでん狭山ヶ丘店)

12月 忘年会 (ガスト東久留米店)

1月 初詣 (小平神明宮)

- (2) その他

喫茶 (月2回)

4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
作業	9:50～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

《みどりグループ》

1) 就労支援事業

- (1) ポスティング作業
- (2) 古着の値付け
- (3) 作業マンション清掃
- (4) 事務封筒製作
- (5) 緑化推進事業
- (6) 空き缶つぶし
- (7) ダイレクトメール封入・封緘
- (8) 公園清掃
- (9) 資源回収

2) 生活支援事業

- (1) 生活支援プログラム (週3日実施)
- (2) 夕方生活支援事業 (週3日実施)

(※5月以降、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。4月のみ週3日実施)

### 3) 行事

#### (1) 年間行事

4月	永年勤続表彰式
5月	DVD鑑賞
6月	ドライブ
7月	ミニゲーム大会
8月	すいか割り、さんぼ、エアロビクス
9月	DVD鑑賞
10月	秋の一泊旅行(埼玉県飯能市方面)
11月	創作活動(クリスマスブーツ作り)
12月	クリスマス会
1月	新成人を祝う会
2月	室内スポーツ大会
3月	DVD鑑賞

#### (2) その他

音楽教室(新型コロナウイルス流行のため、活動中止。)

### 4) 日課

開所・送迎	8:30~9:00
朝礼	9:00~9:20
準備	9:20~9:40
作業	9:40~10:40
休憩	10:40~10:50
作業	10:50~11:50
休憩	11:50~13:00
昼礼	13:00~13:10
作業	13:10~14:10
休憩	14:10~14:20
作業	14:20~15:10
作業片付け	15:10~15:20
終礼・お茶	15:20~15:40
送迎・清掃	15:40~16:30
作業点検・記録等	16:30~17:00
職員打ち合わせ	17:00~17:30

## 6 重点課題・目標

### 1) 活動

#### 《各グループ共通》

(1) 一人ひとりの利用者のニーズに沿った支援の実施

(支援のサイクル)

- ① 支援計画の共有とそれに基づく支援実施
- ② 支援経過の記録と情報共有
- ③ 意見交換等による支援経過の検証
- ④ 必要に応じた計画の見直し

(必要なニーズまた想定されるニーズ)

- ① 健康に関する問題
- ② 精神的な安定に関する問題
- ③ 作業に関する問題
- ④ 身体的な機能に関する問題等

## 【成果と課題】

これ迄の個別支援計画を大幅に見直し、支援目標を明確にしたことで、計画に沿った支援が行い易くなり、計画に沿った支援という点では、前年度より改善した。ただし、支援目標設定の理由に対する考察が不足していたとともに、支援の評価も不十分で、記録においても支援の実施の有無にとどまっていることが多かった。

### (2) 作業活動の充実

- ① 安定した作業提供
- ② 新規作業の開拓
- ③ 作業収入の増加・工賃向上  
目標額 10,300,000円
- ④ 利用者の作業能力の維持、向上

## 【成果と課題】

- ① 新型コロナウイルスの影響により、主にDMの受注量が減少し、年間を通して安定的に受注量を確保することが困難であった。しかし、作業が途切れた際には、これまで定期的には実施できていなかった作業道具の手入れや室内清掃を利用者と一緒に行うことで、利用者の活動が止まらないよう工夫した。
- ② 新規で箱作りの受注を受け、約10名の利用者が作業に携わった。まだ、始めて間もないことや工程が複雑なため困惑している利用者もいたが、全体的には新しい作業に前向きに取り組んでいた。この他、6か所の会社等に営業活動を行ったが、新型コロナウイルス流行の影響を受け、下請け作業が減少傾向にあるとの理由から受注には至らなかった。
- ③ 受注量の減少が大きく影響し、月々の就労会計が赤字収支となったことから、利用者工賃基準の改定を行い、7月より時給を定額の200円から月の収入に応じて変動する方法に変更した。

1年間の目標収入	1,030万円
1年間の収入額	約833万円 (令和元年度 約1,048万円)
目標の達成率	80.8%

- ④ 多くの利用者は、個別支援計画に基づき、これまで行ってきた作業工程を継続し、安定的に作業を行うことができた。ただし、あかしあグループの3名の利用者については、高齢による作業能力等の低下がみられており、作業工程の変更や作業量を本人のペースに合わせて減らすなどの対応を行った。受注量が減少したことで、新しい作業工程にチャレンジする機会は減少したが、みどりグループの4名の利用者が新たな工程にチャレンジし、2名が自助具を使用することで作業の精度が上がった。残りの2名は練習を継続中である。

## 2) 人材育成

### (1) グループリーダー

- ① 各職員の行動に関心を持ち、事業方針に沿った指導や意見を行う。
- ② 事業計画および支援計画の進捗状況を把握し進捗状況を随時確認し全体で共有する。
- ③ 活動全体を視野に入れて業務を行う。
- ④ 現場職員と施設長の橋渡しの役割を担うと共に、グループ間の情報共有を密にとる。
- ⑤ ケース記録、ミーティング記録の内容や記載漏れについて確認を徹底する。
- ⑥ 利用者家族と連絡調整を通じて、信頼関係を構築する。

## 【成果と課題】

日常の利用者支援や家庭との連絡調整など活動の中心的な存在としてリーダーの役割を果たした。また、本人の様子が適切に記録されているかケース記録のチェックを行い、必要に応じて他の職員へ指導を行った。但し、知識と技術が不十分ということで、6-1) - (1)に記載のように、他の職員へのPDCAサイクルに関する指導は不十分なものとなった。

(2) 全職員

- ① 月1回の事業所会議にて事業計画を振り返り、業務にあたる。
- ② 利用者の心情理解、リスク管理、支援技術など基本的スキルの向上。
- ③ 伝達や報告の手法、ケース記録・ミーティング記録の作成など情報共有に必要なスキルの向上。
- ④ 活動内容や支援方法に対して自己の意見を表明し、積極的に事業に関わる姿勢を持つ。

【成果と課題】

①

年度前半は実施せず、10月以降毎月計画の読み合わせという形で実施したが、実際の業務との関連付けに苦慮し、大きな効果はなかった。

②③④

一般的に利用者と良好な関係が築けており、丁寧な支援が行えたほか、相談に対しても傾聴する姿勢がみられた。ただし、職員間の情報共有が不十分であるほか、自分の担当業務以外に関心が薄い職員も多く、施設内の協働連携は前年度に引き続き不十分であった。また、経験年数の浅い職員も多く、支援や記録などにおいて、職員間のスキルの差が大きかった。

3) 経営管理

- (1) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行するとともに、試算結果から課題が見えた場合は迅速に対応する。

【成果と課題】

月次試算分析は丁寧に行い、経営状態の把握はできていたが、そこで明らかになった就労支援事業会計の収支悪化への対応は自発的に行うことができず、法人からの指摘を受けてからの対応となった。

(2) 経費削減を徹底する。

- ① 未使用スペースの消灯等節電の徹底。
- ② 整理整頓により、備品、消耗品等の在庫管理を徹底する。
- ③ 印刷物については必要枚数の確認や、枚数の多いものについては試し刷りを行うなど無駄な印刷を行わないようにする。

【成果と課題】

全体的に改善されてきているが、活動室の電気の消し忘れが散見される。

7 その他の成果と課題

- 1) 職員及び利用者インフルエンザ予防接種を実施し、インフルエンザの罹患者はいなかった。

8 事故等報告

- 1) なし。

9 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日
- 2) 開所日数
  - (1) 週開所日数 5日間
  - (2) 開所時間 午前8時30分～午後4時
  - (3) 年間延開所日数 242日間
  - (4) 平均活動時間 7時間

10 利用状況

- 1) 利用者延人員 13,305人(前年度 13,583人)
- 2) 1日平均利用人員 55.0人(前年度 55.7人)
- 3) 体験実習実人員 8人(前年度 11人)
- 4) 体験実習延人員 45人(前年度 38人)

1 1 利用者状況(令和3年3月31日現在)

1) 年齢

20歳未満	0名		
20歳以上30歳未満	18名		
30歳以上40歳未満	16名		
40歳以上50歳未満	14名		
50歳以上60歳未満	13名		
60歳以上70歳未満	10名		
70歳以上	7名	平均年齢	44.7歳

2) 障害の状況

愛の手帳2度	11名			
愛の手帳3度	17名	(内身障手帳所持	2名)	
愛の手帳4度	19名	(内身障手帳所持	4名、精神保健手帳所持	2名)
身体障害者手帳1級	10名	(内愛の手帳所持	2名)	
身体障害者手帳2級	10名	(内愛の手帳所持	2名)	
身体障害者手帳3級	4名	(内愛の手帳所持	1名、精神保健手帳所持	1名)
身体障害者手帳4級	2名			
身体障害者手帳5級	3名	(内愛の手帳所持	2名)	
身体障害者手帳6級	2名			
精神保健手帳2級	5名	(内愛の手帳所持	1名、身障手帳所持	1名)
精神保健手帳3級	4名	(内愛の手帳所持	1名)	
手帳なし	1名			

3) 通所手段

送迎車利用	38名	(内6名交通機関、内3名徒歩等、内2名家族送迎と併用)
交通機関利用	26名	(内6名送迎車両、内1名徒歩等、内1名家族送迎と併用)
徒歩等	22名	(内3名送迎車両、内1名交通機関、内1名家族送迎と併用)
家族送迎	5名	(内2名送迎車両、内1名交通機関、内1名徒歩等と併用)

4) 居住状況

管内居住	65名	管外居住	13名
------	-----	------	-----

5) 性別

男性	63名	女性	15名
----	-----	----	-----

1 2 作業収益及び工賃等

1) 作業総収入	8,330,685円	(前年度	10,481,682円)	
2) 工賃総額	11,402,520円	(前年度	10,195,180円)	
3) 平均工賃	月額	13,656円	(前年度	12,464円)
	日給	855円	(前年度	751円)
	時給	232円	(前年度	207円)

1 3 生活支援プログラム実施状況

1) 実施日数

(1) PG実施日数	58日
(2) 週平均実施日数	1日

2) 利用者(令和3年3月31日現在)

(1) 利用者数	2人
(2) 利用者延人数	61人

3) 支援者(令和3年3月31日現在)

- (1) 職員 1人
  - (2) アルバイト 4人
  - (3) 職員延人数 5人
  - (4) アルバイト延人数 58人
- 4) 内容
- (1) ウォーキング 58回
  - (2) プール 0回

1.4 夕方生活支援事業実施状況

- 1) 参加者 実14名 (内親の会利用者 0名)
- 2) 延べ 23名 (内親の会利用者 0名)
- 3) 延実施回数: 12回

4) 月別実施状況

実施月	実施回数	延参加人数
4月	4回	15人 (内親の会利用者 5名)
5月	0回	0人 (内親の会利用者 0名)
6月	0回	0人 (内親の会利用者 0名)
7月	0回	0人 (内親の会利用者 0名)
8月	0回	0人 (内親の会利用者 0名)
9月	1回	1人 (内親の会利用者 0名)
10月	2回	2人 (内親の会利用者 0名)
11月	2回	2人 (内親の会利用者 0名)
12月	1回	1人 (内親の会利用者 0名)
1月	2回	2人 (内親の会利用者 0名)
2月	0回	0人 (内親の会利用者 0名)
3月	0回	0人 (内親の会利用者 0名)

5) 内容別実施及び参加状況

内容	実施回数	延参加人数
さんぽ	1回	4人
カードゲーム	1回	2人
テーブルゲーム	1回	8人
ボウリング	2回	2人
ドライブ	7回	7人

1.5 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

1.6 防災計画

災害時避難訓練を年2回実施した。3月に計画していた防災訓練についてはコロナウィルス感染拡大防止のため中止とした。